

平成28年3月10日定例教授会議事抄録

出席者

高見澤所長

池本，板倉，大木，鎌田，黒田，菅，園田，長澤，中島，名和，平勢，榊屋，松田，真鍋，安富の各教授

青山，池亀，小寺，鍾，塚本，馬場，森本の各准教授

海外渡航者

佐藤，高橋，田中，羽田の各教授、李，シルツの各准教授

議事に先立ち2月24日に復旦中華古籍保存研究院一行、3月7日にサウジアラビア王国諮問評議会議員の訪問があった旨報告があり、応対いただいた大木教授、長澤教授に対して謝辞を述べられた。

議事

2月18日開催の定例教授会及び同日開催の臨時教授会の議事抄録を承認した。

通知事項

1. 各種研究助成等の募集について、資料P8のとおり3件。

報告事項

2. 所長報告

高見澤所長から、以下の会議等について報告があった。

1) 拡大入試監理委員会（3月1日）

同会議での審議、報告事項の概要について報告があった。

2) 第17回臨時教育改革本部（3月1日）

今年度を以て同部が廃止となる旨報告があった。

3) 科所長会議（3月1日）

①連携研究機構制度の創設

資料P13に基づき、新たに同制度が創設される旨報告があった。

②東京大学固定資産管理規程の一部改正

資料P14～17に基づき、省庁毎に定められた競争的資金の使用に係る各種ルール等の統一化の一環として、少額備品として管理する資産の取得価格を「10万円以上」に見直す等規程の一部改正が行われる旨報告があった。

③東京大学とフィリピン大学との間における全学覚書の締結

資料P18～19に基づき、全学覚書の締結が承認された旨報告があった。

④東京大学教員の新たな人事制度の取扱いについての改正

資料P 20～22に基づき、本改正の概要について説明があった旨報告があった。

⑤平成28年度における教員以外の職員の採用可能数再配分

資料P 23～24に基づき、本研究所は削減、再配分の対象となっていない旨報告があった。

⑥寄付講座等の設置等

資料P 25～27に基づき、情報学環に設置されている寄付講座の寄付金額等に変更があった旨報告があった。

⑦第15回ホームカミングデイ

資料P 28に基づき、来年度は10月15日に実施する旨報告があった。

4) 第5回大学評価委員会(3月8日)

平成28年度年度計画について審議された旨報告があった。

5) 科所長会議(3月8日)

①平成28年度理事等の分担

資料P 32～34に基づき、来年度の理事等分担について報告があった。なお、来年度より国際、資産・施設担当の理事・副学長及び国際高等研究所長、国際本部長として羽田教授が任命される。

②第2次配分

資料P 35～41に基づき、研究所予算当初配分において、今年度配分額より若干でも増額となった場合、この増額分を優先的に2次配分でも要求している全学共通経費の購入対象外となり部局経費により引き続き買い支えることとした雑誌等購入予算に充てる意向であること、併せて来年度本部事業・全学事業予算の概要等について報告があった。

③東京大学ビジョン2020に基づくアクション前倒し事業の採択結果

資料P 42～43に基づき、本研究所から応募した二事業について採択された旨報告があった。

④連携研究機構制度の創設

資料P 44～46に基づき、本機構を設置できることとするため、本学基本組織規則の一部改正を行う旨報告があった。

⑤障害者の雇用の促進等に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う取扱い

資料P 47～53に基づき、本改正により雇用分野における障害者に対する差別の禁止、障害者に対する合理的配慮の提供義務等が規定された旨報告があった。

⑥東京大学女性教員フォローアップ・メンターシステム

資料P 54に基づき、本システムの趣旨、仕組み等について説明があった旨報告があった。

⑦平成27年度学生表彰「東京大学総長賞」の選考及び授賞式

資料P 55～56に基づき、受賞者・団体について報告があった。

⑧国際交流協定締結等の報告

資料P 57～58に基づき、平成27年3月以降、1年間の全学協定等の一覧の説明があった旨報告があった。

⑨東京大学-プリンストン大学共同研究・教育プロジェクトの審査結果

資料P 59～60に基づき、羽田教授が代表者となり応募した「Global History Project」が採択された旨報告があった。

⑩フューチャーファカルティプログラム

資料P 61に基づき、大学教員を目指す大学院生を対象としたプロジェクトで、現在、第7期募集を行っている旨報告があった。

⑪平成28年度東京大学新任教職員研修の実施

資料P 62に基づき、本研究所では4月1日付けにて着任する新任教員（助教）2名が受講対象者となる旨報告があった。

⑫プリンストン・デイの開催

資料P 63～66に基づき、本学とプリンストン大学との間の戦略的パートナーシップ覚書の締結より3年が経過したことから、これまでの活動成果を確認することを目的として、合同シンポジウムを開催することとなった旨報告があった。

6) 平成28年度教員の恒久採用可能数の削減について

資料P 67に基づき、平成19年度から29年度まで、各部局の承継教員に適用される教員恒久採用可能数を毎年1%削減する考え方、仕組み等について説明があり、平成28年度は全学協力係数分として准教授以上ポスト1名の削減が求められている状況にあるため、准教授ポスト1名の削減を本部に申し出たこと、現行の削減方式で試算すると、次回削減は平成32年度の予定であること等報告があった。

7) 教員の海外渡航（報告）

総務委員会にて資料P 113のとおり4件を承認した旨報告があった、

8) その他

特になし。

3. 各委員会報告

1) 財務委員会

名和委員長から、資料P 68～69に基づき、3月1日現在の平成27年度予算執行状況について報告があり、続けて、資料P 70に基づき、平成28年度予算案について、研究費の配分の一部変更があったこと等報告があった。

2) インフラ委員会

高橋委員長に代わり平勢委員長代理から、今月18日に地階トイレの非常呼出装置の設置工事を予定していること、東京大学ビジョン2020に基づくアクション前倒し事業の要求が承認されたことにより、研究所建物6階～8階の洗面所の一部改修工事が実施できる見込みとなったこと等報告があった。

3) 情報・広報委員会

池本委員長から、事務システム共通アカウントのパスワード更新につき訪問研究員への周知を徹底いただきたいこと、来年度より「東文研友の会」が始動すること、1階ロビー展示用の「研究紹介パネル」の一部入替を行うこと、創立75周年に向けてパネルを制作していること等報告があった。

4) 研究企画委員会

梶屋委員長から、資料P71～73に基づき、英文併記、注意書きの追加等「訪問研究員受入れ許可申請書」の見直しを図ったこと、外国人研究者のビザ申請について、在留資格認定証明書、入国ビザの申請手続きには、相当の時間を要するため、余裕を以て申請いただきたいこと等説明があり、続けて、来年度当初に紀要別冊、叢刊の募集に係るアンケートを実施する旨案内があった。

続いて、鍾委員から、本日14時より鎌田教授の最終研究発表会を開催すること、梶屋委員長から、3月31日付けにて辞職となる張助教及び朱助教の離任研究会を3月24日午後に開催することの案内があった。

5) 東洋学研究情報センター委員会

長澤委員長から、資料P74～75に基づき、4月15日15時を提出期限として来年度機関推進プロジェクトの募集を行っていること、センターホームページに今年度プロジェクトの成果を掲載したこと、今年度は「アジア研究情報ゲートウェイ」に延べ6本の投稿があったこと等報告があった。

6) 図書委員会

休会のため特になし。

7) 情報セキュリティ委員会

特になし。次回は7月に開催する旨報告があった。

8) その他

①菅副所長から、昨年10月末に提出した第2期中期目標期間（平成22年度～平成27年度）における国立大学法人評価受審に係る調書（第1回目）について、大学本部による点検等が完了し、現在見直しを行っている旨報告があり、また、来週17日までに調書（第1回目）提出以降の業績データベースへの業績登録を行っていただき、18日以降は登録作業を控えていただきたいこと等要請があった。

②菅副所長から、本学評価委員会より教員評価の実施時期・周期、実施方法、活用等、定期的な教員評価の実施に向けた検討状況に係る調査依頼があり、資料P76～78のとおり回答すること、来年度以降、教員評価に係る具体の検討を行うこととなること等報告があった。

③森本レクレーション委員から、今年度を以て定年退職となる教員、本研究所から転出、異動となる教職員の送別会を3月24日に開催する旨案内があった。

4. その他

特になし。

審議事項

5. 委員等の応嘱について

該当教員から（新居特任助教は高見澤所長から）説明があり、資料P 79～80のとおり10件を承認した。

6. 非常勤講師等の応嘱について

該当教員から（黄助教（平成28年4月1日付け着任予定）は松田教授、高橋教授、新居特任助教は高見澤所長から）説明があり、資料P 81～82のとおり6件を承認した。

7. 教授会における兼業（委員・非常勤講師等の応嘱）の取扱いについて

高見澤所長から、本研究所教員の学外委員、他大学の非常勤講師等兼業に係る取扱いについて、従前、選考、審査委員等、一部例外を除いて教授会での審議案件としてきたが、来年度からは所長決裁事項とし、教授会での取り扱いは、原則資料確認のみの報告案件に改めることとしたい旨提案があり、承認された。

8. 訪問研究員の受け入れについて

該当教員から（羽田教授申請分は高見澤所長から）説明があり、資料P 83～85のとおり5件を承認した。また、高見澤所長から、長澤教授、園田教授担当教員の訪問研究員2名について、資料P 85のとおり、受入期間が変更となった旨報告があった。

9. 特任研究員の採用について

池本教授から、別添資料1に基づき、採用予定者について説明があり、承認された。

10. 学内委員の委嘱について

高見澤所長から、資料P 86に基づき、中島教授に新たに設置される日本語教育機構（仮称）検討ワーキング・グループ委員を担当いただきたいこと、任期満了等に伴い、資料P 87のとおり学内委員を交替・留任し、担当いただきたいこと等説明があり、大学院教育会議委員（総合文化）について、名和教授に担当いただくこと等一部修正のうえ、承認された。また、中島先生に国際総合日本学教育プログラム運営会議委員を留任いただきたい旨追加で説明があり、承認された。

11. 所内委員会について

高見澤所長から、資料P 88のとおり所内委員を交替・追加等し、担当いただきたい旨説明があり、副所長職指定の委員については次期副所長に修正のうえ、各委員会の構成員について承認された。

なお、4月1日付けにて着任する教員2名の担当委員、部門主任、部門副主任については、次回教授会において審議する旨説明があった。

12. 平成28年度研究計画について（2回目）

榊屋研究企画委員長から、資料P 89～97に基づき、前回教授会からの変更点等について説明があり、続けて、別添資料2に基づき、追加の学外研究協力者の略歴、研究業績等について説明があり、審議の結果、承認された。

13. 名誉教授の科研費応募資格について

高見澤所長から、今年度を以て定年退職となる鎌田教授について、「科学研究費補助金の応募資格に関する内規（平成16年9月17日総長裁定）」（資料P100～101）及び「名誉教授の科学研究費補助金による研究実施に関する取り扱い要項（平成27年10月8日教授会）」（資料P102）に基づく科研費応募資格があることを確認したため、資料P98～99のとおり、承認申請を行うこととしたいこと、本学名誉教授の称号を授与されるまでの期間、「客員研究員」の身分を付与し、研究活動に従事することができることとしたいとの提案があり、審議の結果、承認された。

14. 平成28年度追加配分について

名和財務委員長から、資料P104～108に基づき、資料P104の「平成28年度追加配分について（案）」に従い、預託金を財源として、インセンティブ経費及び個人研究費の追加配分を行う旨説明があり、承認された。

続いて、日本・アジアに関する教育研究ネットワーク（ASNET）特任教員の個人研究費について、該当する特任准教授が研究所併任となっており、実質上研究所運営に協力いただいていること等から、来年度以降、研究所教員と同様にインセンティブ経費を含めて追加配分を行うこととしたい旨提案があり、承認された。

15. 教員人事について

①高見澤所長から、資料P109～112に基づき、卓越研究員事業の概要について説明があり、大学本部より来年度の雇用ポスト募集に係る依頼が来ているが、募集期限が非常に短いため、今回は応募の検討を見送ることとしたこと、今後、人事選考を行うにあたり、本事業の活用を検討事項に含めていきたいこと等説明があった。

②今年度の教員人事の選考について、東アジア（第二）、南アジア、新世代アジア（総長裁量ポスト：平成16年度貸借整理分）の各研究部門の選考委員会から、進捗状況について報告があった。

③黒田新世代アジア研究部門（英文ジャーナル担当）選考委員長から、前回教授会にて総長への推薦を行うことが決定した准教授候補者について、現職の任期等を考慮したうえ、平成29年1月1日付けにて着任予定とする旨報告があった。

続いて、榎屋教授から、英文ジャーナルワーキンググループにおいて今後の方向性を検討し、オックスフォード大学との間の英文ジャーナル編集・刊行に係る嘱託契約が終了する平成29年9月以降もジャーナルの刊行を継続すること、黒田教授の英文ジャーナル担当主任の任期は平成29年度までとし、中島教授がその後任となること等答申を策定した旨報告があった。

④名和汎アジア研究部門（文化人類学）選考委員長から、同部門の公募による准教授選考について、応募のあった20件を選考委員会にて審査した結果、1件（名）の候補者を選定した旨説明があり、続けて、回収資料に基づき、当該候補者の略歴、研究業績、推薦理由等の説明があった。審議の結果、次回、再度審議のうえ、投票を行うこと、この状況を鑑み、同選考委員会委員の任期を来月まで延長することが承認された。

16. 教員の兼務について

高見澤所長から、来年度より理事に就任する羽田教授について、本研究所教員として兼務いただきたい旨提案があり、承認された。

17. その他

議事終了後、今年度を以て定年退職となる鎌田教授から退職を迎えるにあたり挨拶があった。

以上